

令和5年度第1回佐倉市立図書館協議会

開催日時	令和5年7月12日(水) 午後2:00~午後3:30
開催場所	佐倉市立佐倉図書館(夢咲くら館)
出席委員	藤崎 言行委員(委員長)、松橋 明子委員(副委員長)、 田中 雅明委員、松丸 晴久委員、西川 豊子委員、 吉光 孝一委員、金子 拓也委員、佐藤 融子委員
欠席委員	佐藤 モト委員、齋藤 めぐみ委員
事務局	佐倉図書館 利光館長、土田主査補 志津図書館 土佐館長 佐倉南図書館 吉尾館長 社会教育課 舎人課長
内容	議題 令和4年度図書館事業報告、令和5年度予算・事業計画

事務局(佐倉図書館長)

只今より、令和5年度第1回図書館協議会を開催いたします。

最初に、5月の教育委員会議で、2名の委員が選任されましたので報告いたします。山王小学校の校長田中雅明委員、南部中学校の校長松丸晴久委員でございます。どうぞよろしく願います。

それでは、会議を進めさせていただきます。

本日の出席委員は、8名で、委員定数の過半数を超えております。よって「佐倉市立図書館の管理運営に関する規則」第21条第2項により会議は成立いたします。

では、議事に移らせていただきます。「佐倉市立図書館の管理運営に関する規則第20条第2項」により委員長が会議を総理することとなっておりますので委員長に会議の進行をお願いいたします。

委員長

本日の傍聴者は3名となります。傍聴要領に従って傍聴をお願いいたします。

それでは、次第に従いまして、最初に令和4年度図書館事業報告及び令和5年度予算・事業計画について、事務局から説明をお願いいたします。

[事務局説明]

令和4年度図書館事業報告及び令和5年度予算・事業計画について、資料に基づき説明

委員長

令和4年度図書館事業報告及び令和5年度予算・事業計画について、佐倉図書館長より一括して説明いただきました。只今の説明に質問等ございましたらお願いします。

委員

移動図書館について質問します。移動図書館の運転手は技術職になると思いますが、職員体制の中には、技術職という補職名はありませんでした。移動図書館の運転手は正規の職員ですか、委託をしているのですか。

事務局（佐倉図書館長）

再任用の正規職員が担当しております。今職員体制の資料では、主査補のうち、再任用職員として計上しております。

委員

移動図書館の図書購入費について質問します。移動図書館の基地は佐倉図書館でしょうか。移動図書館の図書については、佐倉図書館の蔵書本から持って行くことが可能だと思いますが、あえて、移動図書館の図書購入費 270 万円が別途、予算計上されている理由を教えてください。

事務局（佐倉図書館長）

移動図書館用の本として、佐倉図書館の蔵書とは区別しております。

委員

利用者の要望によっては、他の図書館の所蔵本を持っていくことは可能ですか。

事務局（佐倉図書館長）

予約本については柔軟に対応しており、他館の所蔵本を移動図書館でご予約された利用者へお届けしております。

委員

移動図書館は小さいお子様を持つお母さま方が利用する頻度が高いと思われます。そういった需要が高い本を移動図書館専用に購入しているのでしょうか。

事務局（佐倉図書館長）

おっしゃるとおりです。令和 4 年度は移動図書館用として 887 冊購入いたしまして、移動図書館全体の蔵書冊数は 5 万 1 千 70 冊になります。

委員

シルバー人材センターへの夜間委託について質問します。レファレンス業務は図書館の重要な業務の一つですが、シルバー人材センターへ委託している間のレファレンス業務は誰が対応しているのですか。

事務局（佐倉図書館長）

レファレンスの業務は9時から 5 時までとしており、夜間は貸出・返却のみとし、レファレンスは受付していません。また、その旨は利用者へ周知をしております。

委員

例えば、レファレンスを受付して、翌日、司書に伝えるとうことはしていないのですか。あるといいと思います。

事務局（佐倉図書館長）

予約につきましては、翌日に職員に引き継いでおります。

委員

インフレで物価が上がっています。同じ予算ですと購入冊数が減ってしまうのは残念です。来年度以降の予算計上については、物価の上昇を考慮し、前年度と同じ冊数が確保出来るような予算措置を検討していただければと思います。

事務局（佐倉図書館長）

夢咲くら館が開館し、利用者が昨年度の同時期と比較しますと、平均で、6 割から 7 割、増えていることを PR しながら、満足度が上がる図書館に向けて、予算についても、要求をしております。

委員

令和 4 年度実施事業「千葉敬愛短期大学講師派遣の官学連携事業」について、全 12 回の実施に対して、のべ 11 人とは、どういう状況でしょうか。

事務局（佐倉南図書館長）

全 12 回の講義に対して、こちらから講師を派遣した人数になります。

委員

令和 4 年度実施事業「保育園訪問おはなし会」について質問します。令和 4 年度の実績として、馬渡保育園へ 6 回、訪問していますが、訪問先は保育園からの申請により決めているのでしょうか。

事務局（佐倉南図書館長）

保育園から要望・申請があった際に、訪問しております。

委員

「保育園訪問おはなし会」は 4 月に申請するのですか。

事務局（佐倉南図書館長）

随時、申し出があった時点で日程を調整し、訪問しております。

委員

例えば、学童施設で夏休みなどの長期休みの時に訪問おはなし会を申請することはできますか。

事務局（佐倉南図書館長）

申請は可能です。ただし、ご希望の日程に対応できるかどうか確認して、可能な限り、お受けいたしますが、確約はできない状況です。

委員

小さい時に本にふれあうことによって、子どもは本好きになると思います。しかしながら、なかなか、本とふれあう機会が持てておりません。学校もそうだと思います。小さい時期は、いろいろな本とのふれあいを充実させる大切な時期だと思います。おはなし会という、身近なものでお話しに触れて、本を読みたいな、というように導いていくには、おはなし会の機会が、いろいろなところで持てると、子どもにとって幸せなことだと思います。

事務局（佐倉南図書館長）

同様でございますので、可能な限り、お受けできるよう努力してまいります。

委員

令和4年度実施事業の「おすすめの本棚ブックリスト作成」の狙いは、夏休みの読書感想文に利用してもらうため、という説明がありました。読書感想文は課題図書をよく読んで自分なりに理解して感想文を書くというのが主旨ですが、お子さん、また、ご家庭にとっては、しなければならない課題と捉え、「チャット GPT」、キーワードを入力すると文章が作れるアプリですが、これが、良いのか悪いのかは別として、こういう技術が使用される懸念があることを学校の先生方は知っておくべきかと思います。「チャット GPT」の問題は大学においてもどう対応するか、課題があります。

「チャット GPT」で書かれた文章かどうかは見分けることはできません。しかしながら、携帯でもできてしまう技術です。

佐倉市内の各小中学校が個別に、「チャット GPT」について、調査していくのは、大変なことだと思います。可能であれば、図書館で「チャット GPT」について紹介をしたり、また、学校とディスカッション等も行うといいと思います。

委員長

「チャット GPT」が読書感想文に影響することは新聞でもニュースでもいろいろと言われております。図書館では、これについて、話し合いや検討等はしましたか。

事務局(佐倉南図書館長)

「チャット GPT」につきましては、理解しておりますが、図書館で、読書感想文等の宿題については対応までは難しいと認識しております。

委員

例えば、読書感想文を明日までに提出しなければならない時に、今から厚い本を読んで理解して、書くというのは無理な事で、そのようなときに「チャット GPT」や「GPT4」で、本に関連するキーワードを入力するだけで、文章ができてしまいます。それが、良いか悪いかは別として、小中学校の先生方が提出された読書感想文を「チャット GPT」「GPT4」により作られたものにも関わらず、高く評価し、一方で、拙い文章でも真面目に自分で書いた感想文は低く評価されてしまう。評価の意味で問題になってきます。真面目に書くより、「チャット GPT」を使った方が良いということになると残念です。また、「チャット GPT」「GPT4」は親に断りなく、子ども自身が自分で簡単に使うことできるアプリです。

こういった問題について、各学校が個別に調査するのではなく、図書館で主催し、読書感想文が今後、生じ得る課題について、学校の先生方と勉強会等を行うと良いのではないのでしょうか。それは、子どもたちのためでもあります。

本を読まなくて、借りなくてもネットでキーワードを入力すれば、凄い文章がでてくる。例えば、自分が小学校の時にトンボを取ったストーリーを加えてと入れると、それらしい文章がでてきます。とにかく凄い技術なので、危険性があるということの評価する先生方は知っておいて欲しいと思います。

委員

読書感想文の提出にあたっては、本を読んで自分なりの文章を書いてくる生徒がほとんどですが、なかには、親が手助けをしたり、過去の感想文を参考に作成する生徒もおります。ただし、教員といたしましては、生徒一人ひとりの書く力というものを授業で把握しておりますので、読書感想文のコンクールでも審査の段階で調べています。

また、おすすめ本については、生徒の読書へのとりかかり、何をきっかけに本を選ぶかということで、凄く良いものであり、必要なものだと思います。中学校でも図書館司書がおり、おすすめの本を掲示すると、そこを通った生徒は立ち止まりますし、校長先生のおすすめ本と書かれていると、なお興味を示している状況です。

委員

先生方が文章をよく読んで評価されているということは非常に安心です。しかしながら、こういう技術があるということを知っておくことが大事だと思います。

事務局(佐倉図書館長)

これは、深い問題で直ぐに答えは出ませんが、技術の進歩が凄いものであることは認識しております。図書館として、何が出来るか、そこから考えてまいります。

委員

図書館は本を知る機会だと思います。季節等、様々な企画展示をしていますが、子どもたちがそれを見て、おもしろそう、読んでみよう、そういった機会を図書館にはいっぱい作ってほしいと思います。本を読み終わって、主題はこれだ、というのはなかなか、見いだせないものです。読み終わった後、ふわっと、そうだったのかという、自分の思いを読書感想文にどう、まとめるかを、学校の先生方が国語の授業等で指導していただきたいと思います。図書館はいろいろな本を提供し、心の成長を担っていただきたいと思います。

委員

そもそも、読書感想文は何が目的なのか。読書感想文を書くのは子どもの時だけです。文章能力を高めるものなのか、想像力を高めるものなのか。仕事に便利なので、私も「チャット GPT」は使っています。ただ、子どもの頃から「チャット GPT」を使うと、文章能力が高まらない、想像力を高まらなると、具体的に子どもたちに先生方が教えるのが大事だと思います。「チャット GPT」の進歩をもってすれば、下手な文章も作れてしまうかもしれません。先生でも見極められない部分も出てくるかもしれません。「チャット GPT」を使うことが子どもたちにとって、いかにマイナスであるかという視点に立って教えるべきではないかと思います。

委員

最近、文科省から「チャット GPT」における課題の活用のしかたに関する通知が出されています。学校現場としては、これから、「チャット GPT」について、よく理解し、研修を行い、国の指針を参考に学校としても取り組みを進めてまいります。

委員

繰り返しになりますが、ポイントとしては、新しい技術なので、その脅威については、各学校が個別に調査して、対応するよりは、図書館が様々な情報を集めて、各学校へ情報提供等をする。また、会議等を開き、「チャット GPT」とは何か、というところからでも、話し合いや勉強会を行うことが大事だと思います。文科省の指針も通知されていますが、国や行政の対応のスピードよりもびっくりするくらい早く、子どもたちは活用しており、今年の夏からでも「チャット GPT」の問題は懸念されます。

委員長

情報共有等、図書館が主体的に、行っていければよいのではないかと思います。

委員

児童文学の作家団体に所属しており、その立場から申し上げます。全国コンクール課題図書また千葉県での推薦図書等、この時期、書店では平積みになっております。児童書は一般書籍に比べて売れない中、課題図書になるということは凄いことなのです。

読書感想文とは、何なのでしょう。作家としては、子どもたちに感想をいただけることはすごくうれしいことです。もし、私が子どもに「読書感想文をどう書けばいい」と問われたら、まず、ど

こを目指しているのか聞きます。読書感想文は何割かにあらずじを、何割かに自分の体験を、最後に本との絡みの感想を書く、という、コンクールに則したパターンがありますが、このようなパターンで書きたいのか、それとも、本当にこの作品が好きで、特にこのキャラクターが大好きでとなれば、もう、その子にお手紙を書いたら…というふうになります。学校に提出さえすればよい感想文なのか、コンクールを見越したパターンに則した感想文にするかということを見ると、「チャット GPT」は読書感想文のパターンもあるし、何年生の子どもと入力すれば、相応の漢字を使う等の条件も出てくるかと思えます。ただ、提出すればよいだけの感想文であれば、どんどん使うと思えます。そうでなくて、例えば、本でなくても図鑑の一枚の絵に出会って、「僕はこの蝶の羽が好きなのです」などと書き連ねる、枚数は少ないけれども、本当に子どもの心を書いた感想文であれば、それは、子どもにとって大切な感想文です。感想文というものを、どういう規定で求めるかという事が、子どもたちにとっても主催する側にとっても大事なことでないかと思えます。

委員

自分の知る学校での読書感想文の募集について、現状を申しますと、「チャット GPT」を使用した感想文は応募できない、自分で書くように指導するよう伝えられています。

「おすすめ本」紹介はとても大事なもので、それをきっかけにして、子どもはもちろん、保護者の方も参考に本を選んでいきます。おすすめ本を何冊が読み、その中から、読書感想文を書きたい本を見つける子どももいます。

「チャット GPT」はまだ、出始めた課題なので、貴重なご意見をいただいたと思えます。

自分自身も子どもの頃、どうしてもこの本で読書感想文を書きたいという思いがあったものの方が認められていたと記憶しております。

委員長

他にご意見、ご質問はございますか。無いようでしたら、令和 4 年度図書館事業報告及び令和 5 年度予算・事業計画 については以上といたします。

次に、その他といたしまして、夢咲くら館開館状況につきまして、事務局から説明をお願いします。

[事務局説明]

夢咲くら館の利用状況について、統計表等に基づき説明

委員長

只今の事務局の説明にご意見・ご質問等ございますか。ご意見、ご質問のある委員は挙手をお願いします。

委員

移動図書館の利用については、コロナ禍で需要が増えたのではないかと思います。コロナは最近、5 類に移行し、落ち着いた状況になってきましたが、移動図書館の利用状況は変わってきていますか。

事務局（佐倉図書館長）

移動図書館の利用はコロナ前より、コロナ渦の方が盛況でした。

委員

移動図書館は、図書館が無い処に行くのが目的ではありますが、移動図書館の有効利用については、新たな目線に立って、今後の利用を考えていかれてはと思います。

現在、ステーションはいくつありますか。

事務局（佐倉図書館長）

10ステーションです。

委員

佐倉市立図書館には、点字図書は置いてありますか。

事務局（佐倉南図書館長）

佐倉南図書館に何点か所蔵しております。ほとんどが絵本に点字シールを貼ったものになります。

委員

所蔵している絵本に点字を貼付したものです。点字図書としての所蔵はしてないのでしょうか。そもそも、利用もあまりないということでしょうか。点字図書を所蔵し、点訳ボランティアの方が点字図書を作成している図書館もありますが、佐倉市は特に点字図書の必要性はないのでしょうか。

事務局（佐倉南図書館長）

最近、点字サークルの方が点訳をしたい旨の申し出がありました。館内で見ていただくには、簡単な点字の本がいいと言われるため、点字シールを貼った絵本などを増やしていこうと考えております。ただ、1冊の本を点訳しますと、どうしても幅が増えてしまう状況です。

委員

1冊の幅を考えても、それほど難しいことはないと思いますが、そのように、点字ボランティアさんにご活躍いただき、絵本に点字シールを貼るという目的をもってされることは良いことだと思います。

事務局（佐倉南図書館長）

多くは出来ない状況ですので、毎年、少しずつ蔵書を増やしてまいります。

委員長

その他、自由意見でも結構です。何かご意見ございませんか。

委員

他県も含めて、いろいろな図書館を視察されると良いと思います。実際に、図書館を訪れて得られる情報は写真やインターネットを得られる情報よりも沢山ありますので、出張旅費の予算化についても、今後、考えてはいかがでしょうか。

委員長

様々な貴重な意見をいただきまして、充実した時間が過ぎました。他にご意見が無いようでしたら、これで議事は終了とさせていただきます。

事務局(佐倉図書館長)

いただきました貴重なご意見は今後の業務に活かしてまいります。

第2回目の図書館協議会の開催は、1月、2月頃に志津図書館か佐倉南図書館で開催を予定しておりますので、よろしくお願いいたします。

以上です。本日は有難うございました。